

令和 8 年度 高校生等奨学給付金(家計急変支援)のご案内

- ・保護者が失職するなど家計急変により収入が減少し、急変後の世帯年収が支給対象世帯に相当すると認められる世帯に対する支援制度です。授業料以外の教育費負担を軽減することを目的とした返還不要の給付制度で、年 1 回支給されます。
- ・授業料の納付が不要となる「高等学校等就学支援金」とは別に申請が必要です。

・7 月 1 日時点の状況により通常分の給付を受けたが、7 月 2 日以降に家計急変し、より高い給付額の世帯となった場合は、家計急変にかかる給付額から通常分で支給された給付額のうち家計急変による申請のあった翌月以降の月数に応じて算定した額を差し引いた額を追加で給付します。

申請資格(以下のすべてに該当する方)

- ・申請日現在、保護者等が兵庫県内に在住していること
(県外在住の方は、お住まいの都道府県にお問い合わせください)
- ・申請日現在在学し、年度末まで休学をしていないこと
- ・在学中に、これまで「高校生等奨学給付金」を 3 回以上給付されていないこと(過去に在学した学校における給付回数も含む)
- ・児童福祉法による見学旅行費又は特別育成費が措置されていないこと
- ・申請日現在、生活保護(生業扶助)を受給していないこと

対象世帯(以下①～③のいずれかに該当する世帯)

家計急変による経済的理由から、以下のいずれかに相当すると認められる世帯

- ①保護者等全員の道府県民税所得割額及び市町村民税所得割額が非課税相当の世帯
- ②保護者等全員の道府県民税所得割額及び市町村民税所得割の合算額(以下、所得割合算額)が 100 円以上 105,500 円未満相当の世帯
※年収目安 270 万円以上 380 万円未満相当の世帯
- ③保護者等全員の所得割合算額が 105,500 円以上 182,500 円未満相当の世帯
※年収目安 380 万円以上 490 万円未満相当の世帯
※なお、生徒の国籍・在留資格等により対象世帯が異なります。
※提出書類をもとに、家計急変後 1 年間の収入見込額を推計します。

(参考)

- ・①道府県民税所得割及び市町村民税所得割額が非課税相当の世帯の例

2 人世帯	2,044,000 円未満 寡婦(夫)の場合	5 人世帯	3,216,000 円未満
3 人世帯	2,216,000 円未満	6 人世帯	3,704,000 円未満
4 人世帯	2,716,000 円未満	7 人世帯	4,140,000 円未満

※控除対象配偶者を含む保護者等全員の収入見込額を合計します。

※退職金、雇用保険の基本手当(求職者給付)は、収入見込額に含めません。

※この場合の収入とは、会社員等の場合は給与収入、自営業の場合は収入額から必要経費を差し引いた所得金額を言います。

- ・②または③の世帯に該当する場合は、住民税の計算方法により、年収見込額等をもとに所得割額に相当する額を算出し判断します。

給付額(1人あたり年額・年1回のみ)

<7月1日以前に家計が急変し、申請期限(9月16日)までに申請した場合>

高校生等の範囲	区分	給付対象世帯及び給付額		備考
		給付対象世帯	給付額	
			全日制	
申請者	①	住民税非課税世帯	143,700 円	日本国籍をお持ちでない方、または特定の在留資格(特別永住者、永住者、定住者、日本人の配偶者等など)をお持ちでない方は①、②のみ申請可能です
	②	年収 270～380 万円相当の世帯	47,900 円	
	③	年収 380～490 万円相当の世帯	35,930 円	

<7月2日以降に家計が急変し、申請した場合>

申請した月の翌月(申請日が月の初日の場合は申請した月)以降の月数に応じた額

【例】9月2日に申請した場合(全日制)

$$143,700 \text{ 円} \times 6 \text{ か月 (10} \sim 3 \text{ 月)} \div 12 \text{ 月} = 71,850 \text{ 円}$$

<7月1日時点での状況により年収 380～490 万円相当の世帯として支給を受けたが、9月に住民税非課税世帯に相当する世帯へ家計が急変し、申請した場合>

【例】9月2日に申請した場合(全日制)

(家計急変による給付額)

$$143,700 \text{ 円} \times 6 \text{ か月 (10} \sim 3 \text{ 月)} \div 12 \text{ 月} = 71,850 \text{ 円}$$

(7月1日現在の状況により支給された給付額)

$$35,930 \text{ 円} \times 6 \text{ か月 (10} \sim 3 \text{ 月)} \div 12 \text{ 月} = 17,965 \text{ 円}$$

$$71,850 \text{ 円} - 17,965 \text{ 円} = 53,885 \text{ 円}$$

申請に必要なもの(別表もご参照ください。)

- ・保護者等の個人番号が確認できるもの(個人番号カード等)
- ・家計急変事由が確認できるもの(雇用保険受給資格者証・離職票・医師による診断書等)
- ・収入見込額が確認できるもの(会社発行の収入見込証明書・収入申告書等)

申請方法(下記の手順により申請を行ってください)

スマートフォンやパソコンからオンライン申請が可能です。

申請期限までに下記①～②の手順に沿って、申請手続きを行ってください。

① 本校より配付済みの「兵庫県就学支援制度オンライン申請システム」ログイン用 ID とパスワードを用意し、ログインします。

② 入力フォームに必要事項の入力等を行いデータ送信してください。

なお、収入情報の提出方法は、次のいずれかにより提出してください。

- ・個人番号を入力する
- ・課税証明書等を画像化し、アップロードする(この場合、個人番号は利用しません)
- ・課税証明書等を郵送で提出する

<兵庫県就学支援制度オンライン申請システムはこちら>

<https://shuugakushien-online.pref.hyogo.lg.jp>



申請における注意点

オンライン申請画面の項目	注意点
「親権者はいますか」という設問	学生が18歳以上の場合、親権者の同意は不要のため、「いいえ」を選択 (「主たる生計維持者」または「未成年後見人」を選択してください)
振込先口座情報の受領方法	「給付金の受領を学校長へ委任します」は選択しない (※申請者・生徒名義の口座をご指定ください)

注意事項

- ・家計急変に該当しない離職(定年退職)や、明らかな家計急変事由が確認できない場合は、給付の対象とはなりません。
- ・申請方法は通常分の奨学給付金と同様にオンライン申請システムから申請が可能です。

申請期限・給付予定時期

県による税情報の照会や書類審査が行われるため、給付までに時間がかかります。また、ご家庭ごとの振込日の特定や、審査状況のお問い合わせにはお答えできかねますのでご了承ください。

<7月1日以前に家計が急変した場合>

申請期限 令和8年9月16日(水)
給付予定時期 令和8年12月中旬以降(予定)

<7月2日以降に家計が急変した場合>

申請があった日の属する月の翌月(申請があった日が月の初日である場合は、申請があった月)以降の月数に応じて算定した額となりますので、7月2日以降に家計急変した場合は、すみやかに申請してください。

問い合わせ先

神戸市立工業高等専門学校 学生課 (メール: office-gg@kobe-kosen.ac.jp)